



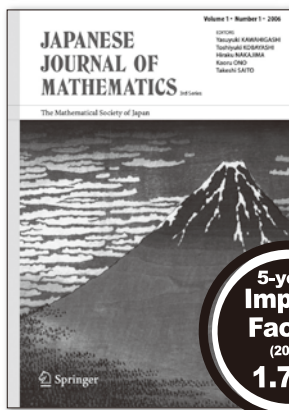
# JAPANESE JOURNAL OF MATHEMATICS

JJMは2005年の存続の危機を乗り越え、継続して出版されることになりました。2006年より3rd Seriesを創刊、最高レベルのサーベイを出版する国際学術誌(年2回発行)として生まれ変わりました。

おかげさまで5周年。JJMは、トムソン・ロイターズ発表の5年インパクト・ファクター(2010)対象の数学ジャーナル全277誌の中で世界12位に躍り出ました。

## Editors

小野 薫 (北海道大学)  
河東泰之 (東京大学)  
小林俊行 (東京大学)  
斎藤 毅 (東京大学)  
中島 啓 (京都大学数理解析研究所)



最新号(2010年第5巻2号)を紹介します。

M. ホバノフ (高木レクチャー)

『平面図表によるカテゴリフィケーション』

**Abstract** 関手と自然変換の平面図表による表示、双随伴性の効力について議論する。次に、ゾルゲル双加群の圏の図表による記述と、量子群の正部分環のカテゴリフィケーションについてレビューを行う。

\* \* \*

M. メイザー, B.V. ペトレンコ

『オイラーの定理のアーノルドによる行列への一般化について』

**Abstract** アーノルドが予想しゼレルアが証明した最近の結果によれば、素数  $p$ , 正整数  $k$ , 整数係数正方形行列  $A$  に対し、 $\text{tr}(A^{p^k}) \equiv \text{tr}(A^{p^{k-1}}) \pmod{p^k}$  である。この一般化として、整数係数  $A, B$  が  $p^k$  を法として合同ならば、 $A^p$  と  $B^p$  の固有多項式が  $p^{k+1}$  を法として合同であることの短い証明を与える。アーノルドの予想はこのことから直ちに従う。

2010年第5巻1号

M. ハリス: ラングランズ・プログラムの数論的応用

U. ヤンセン: 数論幾何における重さの概念

C. カーレ: セール予想とその帰結

J. マッカーナン: 森ドリーム空間

図書委員の先生方へ: 新規購読をおすすめします。

【連絡先】

〒110-0016 東京都台東区台東1-34-8 社団法人 日本数学会 Fax: 03-3835-3485

年2回発行 ISSN: 0289-2316 (冊子版) ISSN: 1861-3624 (電子版)

年間購読料 ¥25,000 + 税 / EUR198.00

彌永昌吉先生が100歳で発表された書き下ろしや、アーノルド等の特別寄稿を掲載した創刊号から最新号まで冊子単位でも購入できます。会員割引 ¥7500+税/冊子 もあります。

広く一般の会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。



社団法人 日本数学会

投稿規定は <http://www.springer.jp/JJM/>